

## 近畿支部

支部長 白山宏人

近畿支部では支部大会や教育セミナーを通して多職種との研鑽を行っています。現在は各県で順次開催される近畿支部大会に合わせ、前年の夏と支部年次大会前日に教育セミナーを開催しています。

冬季教育セミナーは2020年2月1日に京都大学杉浦地域医療研究センターにおいて、久保田千代美（アドラー心理学を学ぶ寧楽の会）代表）さんに「援助職のためのアドラー心理学」について38名の参加者と4時間の講義とグループワークを行っております。

翌日の2月2日には第26回死の臨床研究会近畿支部年次大会・京都（大会長：吉岡亮、大津裕佳 三菱京都病院）を京都大学百年時計台記念館・国際交流ホールにおいて「令和時代の高齢者と死の臨床」をテーマとして開催しております。

清水政克さん（清水メディカルクリニック）に基調講演として「これからの在宅医療とまちづくり」として、地域の課題やこれからの取り組み等について、教育講演では、西山みどりさん（有馬温泉病院）に「認知症高齢者の意思決定支援～より良く逝くことを支えるために～」として、認知症患者の支援についてお話頂いております。

午後からのシンポジウムでは、「さまざまな場所での看取り」をテーマに、大嶋健三郎さん（あそかビハーラ病院）、足立千恵子さん（訪問看護STワトレイ）小椋奈津子さん（京都大学病院地域医療NW部）、白井啓子さん（合同会社オフィスK）にそれぞれの立場で現在の支援や課題等をお話頂き、後半の総合討論ではこれからの課題や取り組み等についてフロアの参加者も交えて議論し、様々なご意見を頂き、95名の参加者と学びを深めております。

次回の第27回近畿支部年次大会は大会長を関本雅子さんと久保山千鶴さん（関本クリニック）にお願いし、2021年2月7日日曜日に兵庫県民会館けんみんホールにて開催されます。テーマは「安楽な死について考える」を予定しております。

近畿支部夏季教育セミナーは8～9月頃、冬季教育セミナーは2月6日土曜日にいずれも神戸市で開催を予定しております。